



ようこそ！ 市長室へ

31

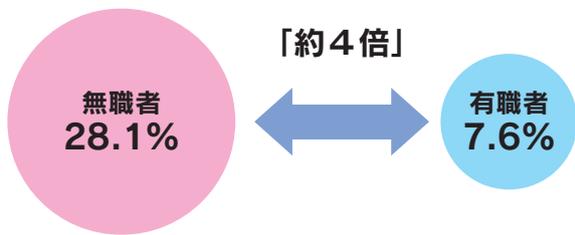


市民の皆さんも保護司さんの力に

「保護司」という名称をご存じでしょうか。法務大臣から委嘱を受け、非行や罪を犯した人たちの生活や就労を手助けし、社会復帰を応援する方たちです。可児保護区（可児市と御嵩町）では、現在29人の方が活動しておられます。

犯罪という背景で、保護司さんたちの活動が、特異性を帯びます。真面目に更生に向かっていると信じていた人が、再犯した事を知ったときの落胆。家族のもとに帰ることを望んでいる服役者を、涙ながらに拒む家族の切なさ。一方で、過去に保護観察となった少年が、立派に社会人となって報告に来てくれたときの喜び。彼女と思しき女性と楽しそうに語らっている姿を見かけると、照れくさそうに微笑んでくれた姿に、込み上げてくる安心感。落胆と喜びが交錯して、保護司の皆さんの働き甲斐となっています。

保護観察終了者の再犯率



出典：平成21年～25年 保護統計年報

笑んでくれた姿に、込み上げてくる安心感。落胆と喜びが交錯して、保護司の皆さんの働き甲斐となっています。

どんな人にもその人権を大切に
 して、幸せになって欲しいという
 思いと、そのことが社会全体の
 安全と安心につながるという信念
 が、保護司さんたちの活動の源で
 す。無職の人の再犯率が、有職者
 の4倍という現実もあります。そ
 こで、立ち直りに協力する「協力
 雇用主」の開拓を重点的に進めた
 結果、当初4事業所だけだったの
 が、37事業所まで増えました。ま
 た、更生保護に携わる人たちとの
 情報交換の場「ひまわり相談室」
 の運営や、いじめ防止協力団体に
 登録したなど、行政、地域、
 学校などとの連携を積極的にとら
 れています。

長年の功績で法務大臣表彰を受
 賞された可児保護区保護司会会長
 の飯田好明さんは、「私個人では
 なく、会の活動に対していただい
 たものと思っています。保護司の
 活動は、地味で目立たないもので
 すが、保護観察対象者と心を通わ
 せることもあり、やりがいを感じ
 ています。定期的に研修会を開き、
 保護観察に必要な知識や情報共有
 に努めています」と謙虚ながら熱
 意をもって語ってくれました。

保護司の皆さんの心の支えは、



研修会の様子

受け持った保護観察対象者の更
 生、社会復帰です。と同時に、雇
 用主としての企業の協力、保護司
 という活動に対する地域の理解
 が、とても大切な要素です。イ
 ベント会場などで保護司の皆さん
 の活動を見かけられましたら、市
 民の皆さんのお立ち寄りや励まし
 を、ぜひお願いします。そのこと
 が、誰もが感じられる「住みごこ
 ち一番・可児」につながるのです
 から。

可児市長 菅見成伸